

令和5年度 学校評価

そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ 思う思わない ■ 思わない ■ 思わない ■ 思わない ■ 思わない ■

① いのちを大切にすることを教育の充実としめや不登校への懸やかな対応

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 道徳・心の教育の充実
学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)

1について、昨年度に比べ、保護者、生徒、教職員の「4」「3」の割合は昨年度とほぼ同じであった。「わからない」の割合が保護者に多い。生徒を大切にしている具体的な場面等を学校・学校通信、HPでも発信していく必要がある。2について、保護者、教職員の「4」「3」の割合は昨年度とほぼ同じであった。道徳の授業研究会や日頃の取り組みを、学校通信や懇談会等で伝えることで、学校の取り組みが保護者へ浸透するようにしたい。

② 確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

3 授業力向上	4 タブレット端末活用
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

3について、昨年度に比べて「4」「3」の割合が保護者は変わらず、生徒が6ポイント下がり、教職員が2ポイント上がった。「わかる」「楽しい」授業をさらに充実させ、多様な「理解の仕方」「知識の仕方」に対応しながら授業改善を行ってきたい。4について、「4」「3」の割合が、保護者が3ポイント、生徒が3ポイント下がったが、教職員が1ポイント上がった。今後さらに授業、家庭学習等でのタブレットの活用について研修による指導力向上を図り、実践を通して保護者や地域へ発信していきたい。

③ 教員が子どもと向き合うための体制の整備

5 学校の支援体制	6 共生社会を担う人材の育成
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。

5について、「4」「3」の割合が保護者が4ポイント下がり、わからないが32%である。教職員は2ポイント下がっている。校内の支援体制の構築を更に進め、全職員で特別支援教育の視点を踏まえた教育活動を推進していくとともに、保護者への啓発や本校の取組について発信していく必要がある。6について、「4」「3」の割合は、保護者が3ポイント下がり、わからないが39%、生徒が3ポイント下がり、わからないが26%であった。教職員は6ポイント上がった。「交流及び共同学習」が実感できる状況を生み出していくとともに、その意義について啓発を進めていきたい。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

7について、「4」「3」の割合は、保護者が1ポイント、生徒が21ポイント上がっている。教職員が15ポイント下がっている。今年度は交通安全の育成を図っていったことが、登下校の状況改善につながった。今後も危機管理意識を持って臨むとともに、保護者・生徒への指導・啓発を行ってきたい。8について、「4」「3」の割合が、教職員は2ポイント、保護者が6ポイント下がっている。地域と連携して生徒を指導・支援していくために、教育方針・目標の共通理解をさらに徹底する必要がある。また、学校・学校通信、HPや安心メールを活用して保護者や地域に発信し、連携、協力を図ってきたい。

⑤ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

9 学校独自1	10 学校独自2
自分がたたくこと、言われたくないことは「しない」「いいえ」ということができましたか。(保護者・教職員：指導できましたか)	自分が不快に感じる言葉は使わず、友達が気持ちよくなる言葉を使うことができましたか。(保護者・教職員：指導できましたか)

9について、「4」「3」の割合は、保護者が97%、生徒が97%、教職員が100%であった。10について、「4」「3」の割合は、保護者が91%、生徒が84%、教職員が96%であった。今後は、教職員をはじめ、生徒・保護者の「2」「1」「わからない」を改善していく働きかけを全校で取り組んでいきたい。

⑥ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

11 学校独自3	12 学校独自3
人の悪いところや欠点を指摘するのではなく、良いところや頑張っていたところを褒めることができましたか。(保護者・教職員：指導できましたか)	人が迷惑することより、喜ぶことを進んで実行できましたか。(保護者・教職員指導できましたか)

11について、「4」「3」の割合は、保護者が89%、生徒が86%、教職員が90%であった。12について、「4」「3」の割合は、保護者が92%、生徒が86%、教職員が94%であった。学校行事と関連させながら2つの活動を取り組んでいる。今後は、学級経営の取り組み1として日常的に取り組んでいきたい。

⑦ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

13 学校独自3	14 学校独自3
生徒会執行部を中心に、生徒が主体的に活躍できる教育活動を、学校は進めていると思いますか。	様々な学校行事や部活動において、あなたは主体的に活動できましたか。

13について、「4」「3」の割合が、保護者が57%、生徒が71%、教職員が85%であった。様々な取り組みの様子を、HPや学校により、学校通信等を活用して保護者や地域へ発信する必要がある。14について、「4」「3」の割合が、保護者が66%、生徒が80%、教職員が95%であった。生徒の主体的な活動の幅が広がるように活動の工夫に取り組むとともに、生徒の成長をキャリアパスポートを活用して保護者とともに共有していきたい。

来年度の具体的な取組について

- ◎生徒や保護者の「思い」やニーズを把握し、寄り添いながら対応する。また、日頃のなかかりを通して、生徒について関心をもつことは、学年・管理職で情報の共有を行い、対応が必要な場合はチームで対応していく体制を確立する。
- ◎生徒に安心感をほぐすために、道徳や学級活動及び学校行事や生徒会活動を中心に、お互いがんばっているところを認め合える取組を推進し、共に成長していく取組を行う。また、いじめに関わる問題を早期に発見し、いじめを許さない指導を徹底する。
- ◎学習環境整備を進め、生徒に「わかる」「できる」という取組を実施させ、学習意欲を高めるために、特別授業を実施させる。そのために、教材研究とタブレット等のICT活用効果的な活用を中心とした授業改善、評価の在り方の理解を深め、校内研修の充実を図る。
- ◎OSOSの出し方に関する教育を実施し、不安や悩みがある場合は、信頼できる大人に相談できるよう促していく。
- ◎PTAや地域の団体と連携しながら、挨拶、交通安全などの規範意識を育てる指導の充実を図る。
- ◎生徒の成長した部分を学校HPや学校通信、学校通信等を通じて、積極的に発信していく。

学校関係者評価

【学校評価員より】
 ◎選抜の多い社会だからこそ、中学生活の自由を、学校のかかわりを通して促していかなければならない。学校行事等の場で、生徒に選抜できる機会を創出したり、自分の特技を披露する機会などは、「人間でも自分はやれている。」という力を育てることにつながる。ぜひ取り組みを続けてほしい。
 ◎大人の考えを中心に教育活動を進めることも大切だが、子どもの考えをよく聞いて、子どもがどのようなことを求めているのかを把握して構築していくことも必要ではないか。そこが活性化につながるきっかけとなるのではないかと。
 ◎ネット犯罪等、怖い事例も増えている。本当に怖いものなどというところ、子どもたちには知っておいてほしいので、指導等と連携してSNS関係の指導を進めてほしい。
 ◎部活動においては、先生方が限られた時間で効果的な練習等を工夫して実施されている。部活動が先生たちの負担にならないようになるとともに、子どもたちのために、部活動のよさを教育活動に還元してほしい。
 ◎集団部活や修学旅行、文化学習委員会等の学校行事が実施され、生徒の生き生きとした表情が表れている。ぜひ今後も続けてほしい。